

## 第11回最上小国川流域環境保全協議会の開催概要について

標記の環境保全協議会について下記のとおり開催しました。

第11回環境保全協議会では、第10回以降に実施した環境影響調査や、今後の調査計画予定について、詳細を説明し御意見をいただきました。

具体的には「第10回協議会における指導事項と対応」「平成24年度環境影響調査の報告」「今後の環境調査及び工事の状況」について説明し、各委員から活発な御意見をいただきました。

### 記

1 日 時 平成25年2月21日（木） 13:30～14:50

2 場 所 新庄市 市民プラザ 小ホール

3 出席者 11名（12名中1名欠席）

原委員長、伊藤一雄委員、伊藤準悦委員、今井委員、梅田委員、萱場委員  
菊池委員、柴田委員、柳原委員、矢野委員、横倉委員（欠席：野口委員）

4 各委員からの主な御意見

- ・梅田委員 【濁度観測】  
・濁度計は異物が引っかかったりすると異常値が出るので、設置方法を検討し計測を実施する必要がある。
- ・今井委員 【猛禽類調査】  
・クマタカAペアの繁殖は成功しなかったと判断される。B,Cペアの繁殖状況は不明であるが、事業地から離れており影響を受けるものではない。  
・オオタカは事業地周辺での繁殖は無かったと考えられる。確認された幼鳥は時期的に、探餌のために他地域から分散した個体と考える。
- ・横倉委員 【ワタナベカレハ調査】  
・飛翔能力が低い雌を1個体確認していることから、調査地点の近くに発生地があると推測される。最上町周辺においては多数確認されている。  
・イチゴナミシヤクは山形県では未記録だったことからレッドデータブックに掲載されていないが、次回の改訂により掲載されるであろう。  
【その他】  
・環境省のレッドリストの見直しがあったため、基礎調査等で確認されていた種が新たに掲載されていないか確認したほうがよい。
- ・原委員長 【植物重要種調査】  
・保全措置として新たな場所に播種するという試みが成功すれば、今後非常に重要なデータになると思うので期待したい。
- ・萱場委員 【付着藻類調査】  
・調査結果の整理について、流量だけでなく水理量をもとに整理したほうがよい。

【開催概況】

